

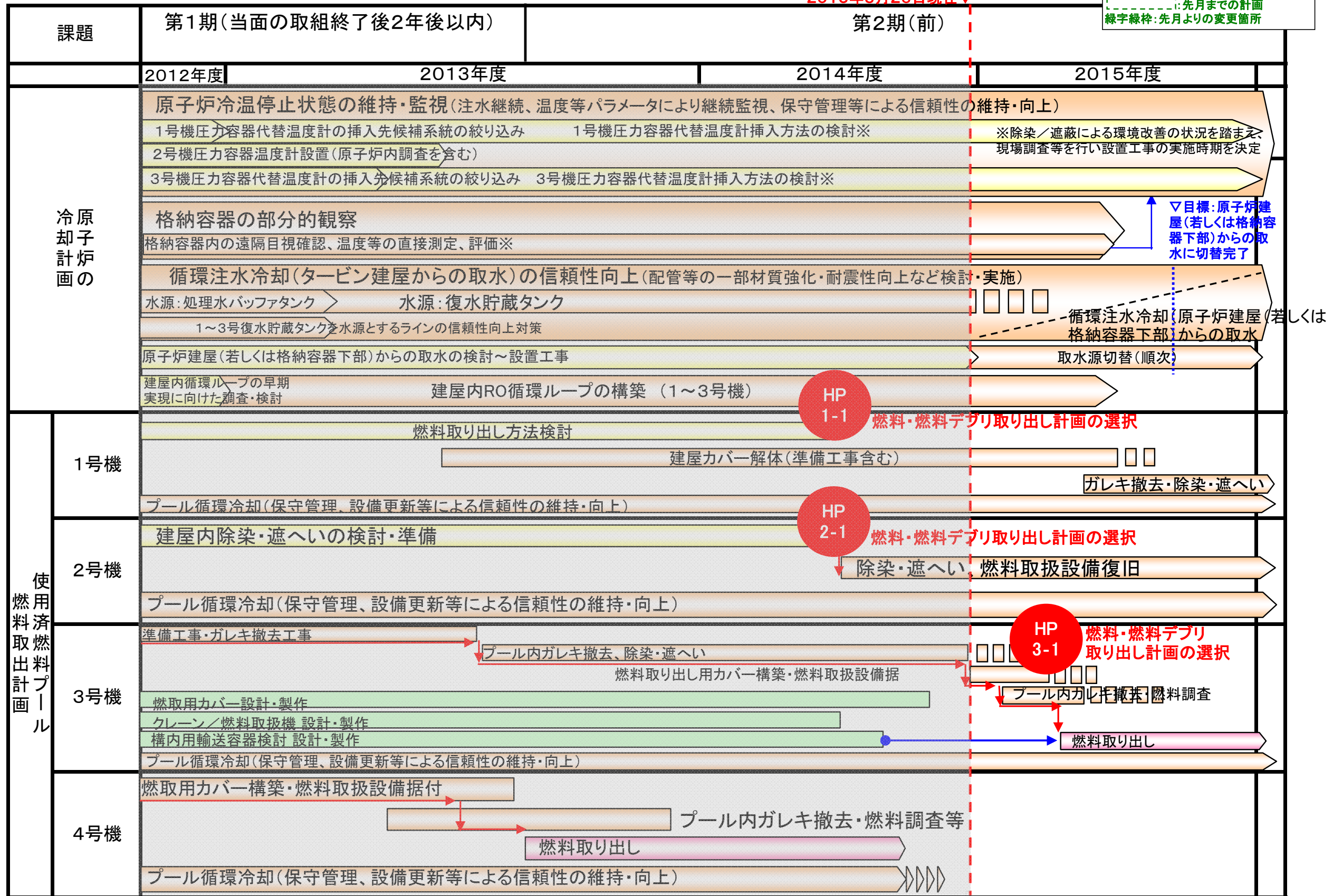
諸計画の取り組み状況(その1)

添付資料3

→ : 主要工程
→ : 準主要工程

現場作業
研究開発
検討
先月までの計画
緑字線枠: 先月よりの変更箇所

2015年3月26日現在



循環注水冷却(原子炉建屋(若しくは格納容器下部)からの取水)

▽目標: 原子炉建屋(若しくは格納容器下部)からの取水に切替完了

HP 1-1

HP 2-1

HP 3-1

諸計画の取り組み状況(その2)

→ : 主要工程
→ : 準主要工程

現場作業
研究開発
検討
先月までの計画
緑字緑枠: 先月よりの変更箇所

2015年3月26日現在

課題	第1期(当面の取組終了後2年後以内)		第2期(前)	
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
燃料デブリ取出計画	建屋内除染	除染技術調査/遠隔除染装置開発		目標: 除染ロボット技術の確立
		遠隔汚染調査技術の開発①		
	遠隔除染装置の開発①		継続	
	現場調査 現場実証(適宜)			
	建屋内除染・遮へい等(作業環境改善①)			
	原子炉建屋内 1階			
	総合的 低減 対策	総合的な被ばく低減計画の策定		※完了
格納 容器 補修 (止水)	格納容器の水張りに向けた研究開発(建屋間止水含む)			
	格納容器調査装置の設計・製作・試験等②			
燃料 デブリ 取り出し	格納容器補修装置の設計・製作・試験等③⑥			
	【1, 3号機】 原子炉建屋地下階調査・格納容器下部調査☆		☆: 開発成果の現場実証含む	
燃料 デブリ 取り出し	格納容器内調査装置の設計・製作・試験等⑤			
	格納容器内部調査			
燃料 デブリ 取出 後の 管理 ・ 処分	収納缶開発(既存技術調査、保管システム検討・安全評価技術の開発他)			
	処理・処分技術の調査・開発			
その他	燃料デブリに係る計量管理方策の構築			
	臨界評価、検知技術の開発			

諸計画の取り組み状況(その3)

→ : 主要工程
→ : 準主要工程

■ : 現場作業
■ : 研究開発
■ : 検討
--- : 先月までの計画
--- : 緑字緑枠: 先月よりの変更箇所

2015年3月26日現在▼

課題	第1期(当面の取組終了後2年後以内)		第2期(前)		
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
プラントの安定状態維持・継続に向けた計画	処理計画 滞留水	▽目標↑現行設備の信頼性向上の実施			
		現行処理施設による滞留水処理		信頼性を向上させた水処理施設による滞留水処理	
		現行設備の信頼性向上等(移送・処理・貯蔵設備の信頼性向上)		信頼性を向上させた水処理施設による滞留水処理	
		分岐管耐圧ホース使用箇所のPE管化			
		タンク漏えい拡大防止対策(堰の嵩上げ・土堰堤・排水路暗渠化)ノタンク設置にあわせて順次実施			
		循環ライン縮小検討			
		サブドレンピット復旧方法の検討	サブドレン復旧工事		サブドレン復旧、地下水流入量を低減(滞留水減少)
		サブドレン他浄化設備の検討→設置工事			
				建屋内地下水の水位低下	
		地下水バイパス設置工事	地下水流入量を低減(滞留水減少)		
発電所全体の放射線量低減・汚染拡大防止に向けた計画	海洋汚染拡大防止計画	海側遮水壁の構築		▽目標: 汚染水漏えい時における海洋汚染拡大リスクの低減	
		鋼管矢板設置			
		放射性ストロンチウム(Sr)浄化技術の検討			
		海水循環浄化	海水繊維状吸着材浄化(継続)		放射性ストロンチウム(Sr)浄化
		航路・泊地エリアの浚渫土砂の被覆等			
	地下水及び海水のモニタリング(継続実施)		※現場状況を踏まえ見直し		
	気体・液体廃棄物	1~3号機 格納容器ガス管理システム運用			
		2号機 ブローアウトパネル開口部閉止・換気設備設置			
		建屋等開口部ダスト濃度測定・現場調査			
		気体モニタリングの精度向上			
		陸域・海域における環境モニタリング(継続実施)			
敷地境界線量	▽目標: 発電所全体から新たな放出される放射性物質等による敷地境界1mSv/年未満				
	遮へい等による線量低減実施				
	汚染水浄化等による線量低減実施				
		陸域・海域における環境モニタリング(継続実施)			
除染計画 敷地内	目標: 1~4号機周辺を除く敷地南側エリアを平均5μSv/時以下▽				
	発電所敷地内除染の計画的実施				

諸計画の取り組み状況(その4)

2015年3月26日現在

→ : 主要工程
→ : 準主要工程

現場作業
研究開発
検討
先月までの計画
緑字線枠: 先月よりの変更箇所

課題		第1期(当面の取組終了後2年後以内)		第2期(前)			
		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度		
使用済燃料プールからの燃料取り出し計画	輸送貯蔵兼用キャスク	キャスク製造					
	乾式貯蔵キャスク	キャスク製造					
	港湾	物揚場復旧工事		空キャスク搬入(順次)			
	共用プール	搬入済み		順次搬入			
		既設乾式貯蔵キャスク点検(9基)		共用プール燃料取り出し			
	損傷燃料用ラック設計・製作		据付		使用済燃料プールから取り出した燃料集合体の貯蔵(保管・管理)		
	キャスク仮保管設備	設計・製作		設置		キャスク受入・仮保管	
研究開発	使用済燃料プールから取り出した燃料集合体の長期健全性評価						
	使用済燃料プールから取り出した損傷燃料等の処理方法の検討						
燃料取り出し計画	原子炉建屋コンテナ等設置						
	RPV/PCV健全性維持	圧力容器/格納容器腐食に対する健全性の評価技術の開発 腐食抑制対策(窒素バブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減)					
施設の廃止措置に向けた計画	固体廃棄物の保管管理計画	適切な遮へい対策及び飛散抑制対策を施した安定保管の継続				発生量低減策の推進	
		保管管理計画の策定(発生量低減/保管)	持込抑制策の検討		車両整備場の設置		保管適正化の推進
			保管管理計画の更新		ドラム缶保管施設の設置		
			雑固体廃棄物焼却設備 設計・製作		雑固体廃棄物焼却設備の設置		
	固体廃棄物の処理・処分計画	ガレキ等の覆土式一時保管施設への移動 伐採木の覆土工事 遮へい等による保管水処理二次廃棄物の線量低減実施				※現状に合わせた見直し	
		水処理二次廃棄物の性状、保管容器の寿命の評価・対策の検討		処理・処分に関する研究開発計画の策定		処理・処分技術の幅広い調査と適用性の評価 固体廃棄物の性状把握、物量評価等	
		複数の廃止措置シナリオの立案				廃止措置シナリオの立案	
実施体制・要員計画	協力企業を含む要員の計画的育成・配置、意欲向上策の実施 等						
作業安全確保に向けた計画	安全活動の継続、放射線管理の維持・充実、医療体制の継続確保 等 <small>事務本館休憩所・免震重要棟前休憩所・免震重要棟の線量低減</small>						

HP ND-1

廃止措置シナリオの立案